

7回シリーズ

統合失調症の社会生活に 影響する内的要因

ー病識から感覚・社会認知までを探るー

ー社）奈良県作業療法士会
精神障害専門委員会主催

統合失調症の“社会生活の難しさ”は、記憶や注意といった認知機能障害だけでは説明できません。脳波や感覚処理の異常、病識のあり方、社会認知のゆがみなど、目に見えにくい内的要因が複雑に絡み合っています。今回の研修会では、それぞれの要因を最新の知見から掘り下げながら、作業療法士が「臨床の場で何ができるのか」を具体的に考えていきます。教科書には載っていない、新しい学びと実践のヒントを一緒に探求してみませんか？

形式 ZOOM オンライン

時間 それぞれ 19:15-20:45

資格 日本作業療法士協会会員かつ
各都道府県作業療法士会会員

参加費
無料 | 定員 各80名

申込



<https://forms.gle/mADgwKYpCF48QN3D9>

①2025.11.27

統合失調症と病識の再考
ー自己理解と社会生活の関連ー

森ノ宮医療大学 小川泰弘

②2025.12.16

脳波が映し出す
統合失調症の内的プロセス

大阪河崎リハビリテーション大学 白岩圭悟

③2026.01.06

統合失調症における運動機能と
多重課題介入（MCAT）の可能性

秋津鴻池病院 木納潤一

④2026.01.29

社会認知の全体像
“みる・つかう・支える”視点から
統合失調症を起点とした臨床実践

奈良学園大学 福原啓太

⑤2026.02.13

感覚異常とSensory Profile
統合失調症における
感覚処理の理解と臨床応用

フリーランス 早川智美

⑥2026.02.20

結論への飛躍とメタ認知
推論スタイルと自己認識のバイアス

関西医科大学 林良太

⑦2026.03.10

社会認知機能障害への戦略
作業療法における介入の実践

五条山病院 河野正志

主催：ー社）奈良県作業療法士会 精神障害専門委員会

お問い合わせ

奈良県士会精神障害専門委員会：木納潤一

✉ nara.ot.kyoikubu@gmail.com